

事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0388

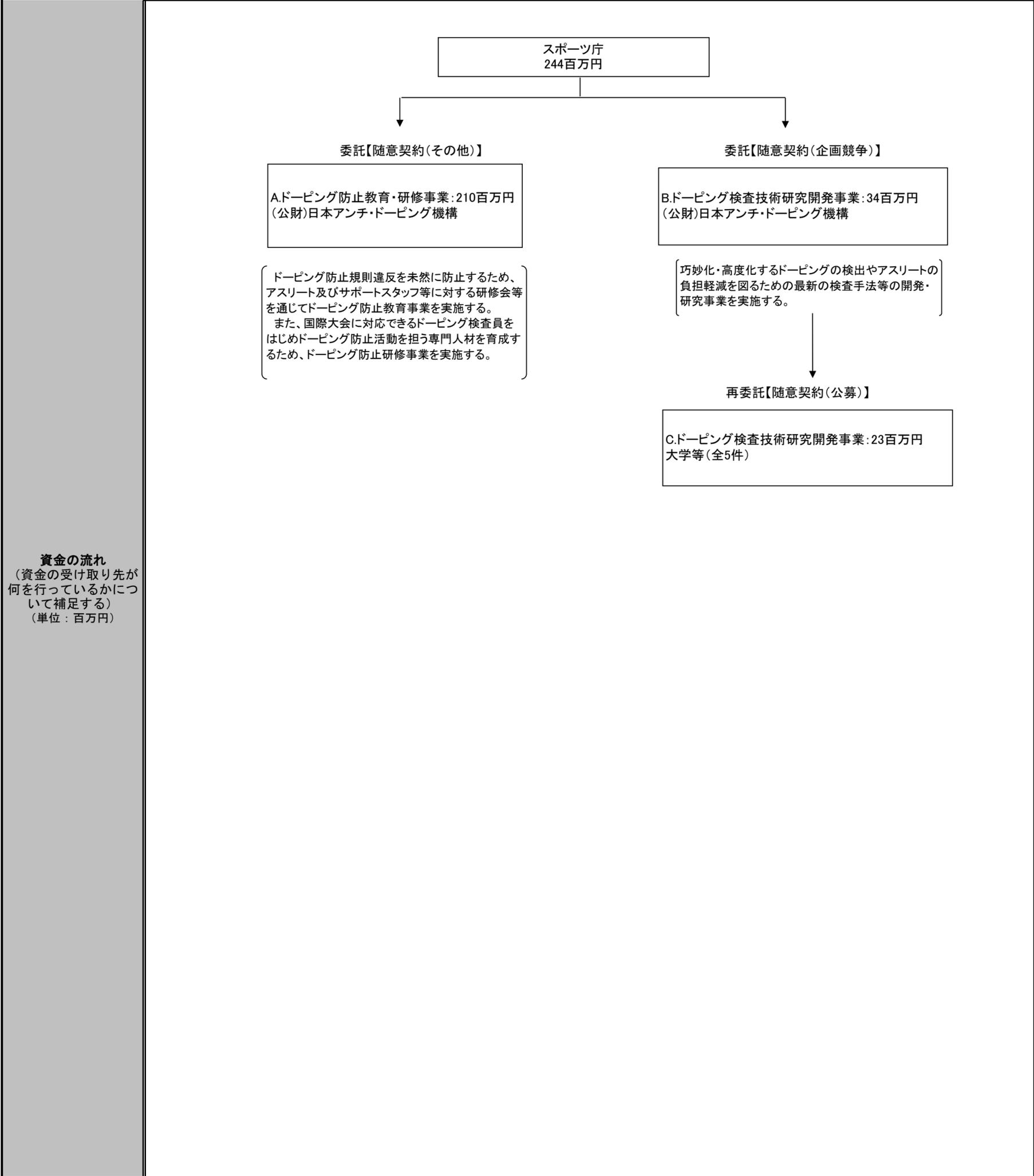
令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	ドーピング防止活動推進事業		担当部局庁	スポーツ庁		作成責任者	
事業開始年度	平成18年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(国際担当)付	参事官(国際担当) 八木 和広	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	ユネスコの「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」第19条・24条 スポーツ基本法第2条・29条 スポーツにおけるドーピングの防止活動の推進に関する法律 第12条・13条・14条		関係する計画、通知等	第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定) スポーツにおけるドーピング防止活動に関する施策を総合的に推進するための基本的な方針(平成31年3月14日決定)			
政策	11 スポーツの振興		主要経費	教育振興助成費			
施策	11-2 東京大会のレガシーを継承した持続可能な競技力向上支援体制の構築						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-34.pdf						
事業の目的(5行程度以内)	ドーピングは、競技者の健康を損ね、スポーツの価値を損ねるなどの問題があり、世界的規模での幅広い防止活動が求められている。また、我が国は、ユネスコの「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」を締結するとともに、世界ドーピング防止機構(WADA)のアジア地域代表理事国・執行委員国となっている。こうしたことを踏まえ、国内外のドーピング防止活動を積極的に推進し、クリーンでフェアなスポーツの実現を図る。						
現状・課題(5行程度以内)	我が国におけるドーピング防止規則違反件数は、国際的にみて低い状況にあるが、ドーピングが巧妙化・高度化する昨今において、ドーピング防止活動の推進はより一層重要となっている。そのため、最新の世界ドーピング防止規程や国際基準等に基づき、継続して、ドーピング防止教育・研修、検査技術の研究開発事業に取り組む必要がある。						
事業概要(5行程度以内)	ユネスコの国際規約で国の役割とされているドーピングの防止に関する教育、研修及び研究について、以下の事業を行う。 (1)ドーピング防止教育事業:ドーピング防止規則違反を未然に防止するため、アスリート及びサポートスタッフ等に対する研修会等を実施 (2)ドーピング防止研修事業(人材育成):国際大会に対応できるドーピング検査員をはじめドーピング防止活動を担う専門人材を育成 (3)巧妙化・高度化するドーピングに対する検査技術の開発・研究を実施(平成25年度～)						
事業概要URL							
実施方法	委託・請負						
補助率等							
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	305	305	305	330	388
		執行額(G)	224	248	244		
執行率(%) =(G)/(F)	73%	81%	80%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	73%	81%	80%				
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	スポーツ振興費			※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。 ※ドーピング検査員育成等のため、令和6年度要求額増		
	(目)	スポーツ振興事業委託費	325	383			
	(目)	職員旅費	4	4			
	(目)	庁費	0.6	0.6			
	(目)	委員等旅費	0.2	0.2			
	(目)	諸謝金	0.2	0.2			
	(目)	その他	0	0			
	計(A)	330	388				

活動内容① (アクティビティ)	ドーピング防止規則違反を未然に防止するための教育・啓発									
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	国際基準遵守のための、登録検査対象者リスト/検査対象者リスト(RTP/TP)アスリートに対しドーピング防止教育を実施する。	ドーピング防止に係るEラーニングのRTP/TPアスリートの受講者数	活動実績 当初見込み	人 人	- -	- -	513 510	- 515	- 520	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	ドーピング防止規則違反を未然に防止するため、ドーピング防止教育を実施していることから、RTP/TPアスリートに適用される規則違反の一つである居場所情報関連義務違反件数の低水準の維持を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
	居場所情報関連義務違反件数を低水準で維持する。	居場所情報関連義務違反件数	成果実績	件	-	-	0	-		
			目標値	件以下	-	-	10	10		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	本事業の事業計画書及び事業完了報告書等									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	ドーピング防止教育の最終的な目標は、国内におけるドーピングの抑止であることから、国内におけるドーピング防止規則違反件数を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 12 年度		
	国内におけるドーピング違反の低水準の維持	オリンピック・パラリンピック競技種目における国内競技連盟所属選手によるドーピング防止規則違反件数	成果実績	件	0	1	1	-		
			目標値	件以下	-	-	-	3		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	国内のアンチ・ドーピング規則違反決定									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容② (アクティビティ)	ドーピング防止活動を担う専門人材の育成									
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	これまで整備・拡充されてきたドーピング検査員の質を維持する。	ドーピング検査員を対象とした講習会開催数	活動実績	回	-	-	7	-	-	
			当初見込み	回	-	-	5	5	5	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	国内におけるドーピング検査を適切に実施するためには、講習会を通じて正しい知識や技術を身につけた検査員が一定数必要であることから、ドーピング検査員資格保有者数を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7年度		
	ドーピング検査員資格保有者150人以上を維持する。	ドーピング検査員資格保有者数	成果実績	人	-	-	373	-		
			目標値	人	-	-	155	180		
達成度	%	-	-	240.6	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	本事業の事業計画書及び事業完了報告書等									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	正しい知識や技術を身につけたドーピング検査員を一定数継続的に確保することは、国内のドーピング検査体制の堅持につながり、ひいては国内のドーピング防止規則違反の抑止につながることから、国内におけるドーピング防止規則違反件数を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 12年度		
	国内におけるドーピング違反の低水準の維持	オリンピック・パラリンピック競技種目における国内競技連盟所属選手によるドーピング防止規則違反件数	成果実績	件	0	1	1	-		
			目標値	件以下	-	-	-	3		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	国内のアンチ・ドーピング規則違反決定									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容③ (アクティビティ)		ドーピング検査技術の研究・開発								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		巧妙化・高度化するドーピングの検出 やアスリートの負担軽減の実現を図る 研究開発を実施する。	研究課題数	活動実績	件	4	5	5	5	-
当初見込み	件			4	5	5	6	6		
↓		成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		研究開発において得られた成果を国内で発信することは、当該研究開発領域に関心を持つ研究機関の増加に寄与することから、国内の学会での成果発表回数を短期アウトカムとして設定した。						
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		当該研究開発事業を通じて得られた成果 を国内に向けて発信する。	国内の学会での成果発表回 数	成果実績	回	-	-	6	-	
				目標値	回	-	-	3	4	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		本事業の事業計画書及び事業完了報告書等								
		成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		国内で一定の成果を得られた研究開発内容が海外でも認められることは、当該研究開発領域の発展につながり、ひいては世界的なドーピング検査に資するものであることから、海外で公募されているアンチ・ドーピング研究助成事業への本委託事業からの応募数を長期アウトカムとして設定した。						
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 12 年度	
		国内で一定の成果を得た研究・開発領 域の更なる発展を目指す	海外のアンチ・ドーピング研究 助成事業への応募数(目標最 終年度の件数は最終年度ま での応募総数)	成果実績	件	-	-	0	-	
目標値	件			-	-	0	3			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		本事業の事業計画書及び事業完了報告書等								
		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
アウトカム設定につい ての説明		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								

事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名称													
	URL													
	該当箇所													
事業所管部局による点検・改善														
点検結果	<p>本事業は、ユネスコの国際規約で国の役割とされているドーピング防止に係る教育、研修及び研究を実施するものであり、スポーツ基本法及びスポーツ基本計画においてもその必要性が明記されるなど政策の優先度が極めて高い事業であり、事業の成果実績及び活動実績も概ね目標を達している。また、事業内容の見直しに対応した新たな成果目標及び活動指標を設定した。</p> <p>本事業の委託先の選定に当たっては、公募(企画競争)を実施し妥当性や競争性を確保するとともに、一者応札に関して契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきとの行政事業レビュー推進チームによる所見を踏まえ、ドーピング防止教育・研修事業については、平成29年度委託先の選定から随意契約事前確認公募への移行を行うなど適切な対応を行っている。</p> <p>委託事業の契約の締結、委託額の確定手続きに当たっては、事業経費の費目の使途・内容を厳正に審査するなど、真に必要なものに限定するとともに、コスト削減や効率化を図っている。</p>											目標年度における効果測定に関する評価(令和7年度実施)		
	改善の方向性	<p>支出先の選定に当たっては、引き続き、随意契約事前確認公募の実施など適切に対応し、契約の競争性、公平性、透明性を確保するとともに、新たに設定した成果目標及び活動指標を踏まえ、着実な事業実施に努める。</p>												
外部有識者の所見														
外部有識者による点検対象外														
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見														
事業内容の一部改善	この事業は、依然として一者応札・応募となった契約があり、かつ契約相手方が公益法人であることから、より詳細な要因を分析したうえで、工程管理等を行いながら、予算執行の適切な改善に努めるべきである。													
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況														
執行等改善	支出先の選定にあたっては、引き続き随意契約事前確認公募の実施など適切に対応し、契約の競争性、公平性、透明性を確保するとともに、予算執行状況を適切に管理し事業の効果的な実施に努める。													
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ													
	上記への対応状況													
	その他の指摘事項													
上記への対応状況														
備考														
関連する過去のレビューシートの事業番号														
平成23年度	359													
平成24年度	387													
平成25年度	350													
平成26年度	343													
平成27年度	334													
平成28年度	314													
平成29年度	337													
平成30年度	337													
令和元年度	文部科学省	-			0330									
令和2年度	文部科学省				0333									
令和3年度	2021	文科	20		0355									
令和4年度	2022	文科	21		0360									



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額が 支出されている者について記載 する。費目と用途の双方で実情が 分かるように記載)	A.			B.			
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
	雑役務費	教材制作費、システム利用料等	102	再委託費	研究費等	23	
	人件費	賃金	58	人件費	賃金	5	
	その他	諸謝金、旅費、借損料、印刷製本費等	30	その他	印刷製本費、通信運搬費、雑役務費等	3	
	一般管理費	事業費の10%	19	諸謝金	事業推進・評価委員への謝金	2	
通信運搬費	書類・機材等郵送費	1	一般管理費	事業費の10%	1		
計		210	計		34		
C.			D.				
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)		
消耗品費	試薬等	5					
その他	一般管理費等	0.5					
計		5.5	計		0		
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構	8011505001508	ドーピング防止教育事業、ドーピング防止活動に係る人材育成事業	210	随意契約(その他)	-	-	-

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構	8011505001508	巧妙化・高度化するドーピングの検出やアスリートの負担軽減を図るための最新の検査手法等の開発・研究事業	34	随意契約(企画競争)	1	100%	-

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東北大学	7370005002147	巧妙化・高度化するドーピングの検出やアスリートの負担軽減を図るための最新の検査手法等の開発・研究事業	5	随意契約(公募)	-	-	-
2	国立大学法人東京大学	5010005007398	巧妙化・高度化するドーピングの検出やアスリートの負担軽減を図るための最新の検査手法等の開発・研究事業	5	随意契約(公募)	-	-	-
3	学校法人藤田学園	4180005007630	巧妙化・高度化するドーピングの検出やアスリートの負担軽減を図るための最新の検査手法等の開発・研究事業	5	随意契約(公募)	-	-	-
4	学校法人日本医科大学	4010005002383	巧妙化・高度化するドーピングの検出やアスリートの負担軽減を図るための最新の検査手法等の開発・研究事業	4	随意契約(公募)	-	-	-
5	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター	6012705001563	巧妙化・高度化するドーピングの検出やアスリートの負担軽減を図るための最新の検査手法等の開発・研究事業	4	随意契約(公募)	-	-	-